学校番号	2101

令和８年度　数学科

教科	数学	科目	数学Ⅱ	単位数	４単位	年次	全年次 数学Ⅰ（3単位）履修済後
使用教科書	「最新　数学Ⅱ」（数研出版）						
副教材等	「３ＲＯＵＮＤ　数学Ⅱ＋Ｂ」（数研出版）						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・授業では、課題に対して、自ら考え、周りの人と協働で考える活動を行います。
・「課題を理解する→結果を予想する→解決の方向を構想する→解決する→解決の過程を振り返ってよりよい解決を考える」といった一連の過程で、自分の考えを発表したり、議論したりする活動を行います。

2　学習の到達目標

【知識及び技能】
概念を理解し、基礎的な知識の習得と技能の習熟を図ることを目標とする。
【思考力、判断力、表現力等】
事象を数学的に考察する能力を培うことを目標とする。
【学びに向かう力、人間性等】
数学のよさを認識し、習得した知識、習熟した技能、事象を数学的に考察する能力等を活用する態度を育てることを目標とする。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	数学的活動を通して、基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。	数の範囲や式の性質に着目し、等式や不等式が成り立つことなどについて論理的に考察する力、座標平面上の図形について構成要素間の関係に着目し、方程式を用いて図形を簡潔・明瞭・的確に表現したり、図形の性質を論理的に考察したりする力、関数関係に着目し、事象を的確に表現してその特徴を数学的に考察する力、関数の局所的な変化に着目し、事象を数学的に考察したり、問題解決の過程や結果を振り返って統合的・発展的に考察したりする力を養う。	数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度、粘り強く柔軟に考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
前半	式と証明	第1節　式と計算 多項式の乗法と因数分解 二項定理 多項式の割り算 分数式の乗法・除法 分数式の加法・減法 恒等式	a:展開・因数分解を適切に計算できる。分数式の計算ができる。 b:$(a+b)^n$の展開式を深く分析し、係数についての法則を推測することができる。 分数式の計算の結果を、既約分数式または多項式に表すことができる。 c:様々な問題に意欲的に取り組む。	プリント・小テスト	プリント・小テスト	授業態度
		第2節　等式・不等式の証明 等式の証明 不等式の証明 相加平均と相乗平均	a:相加平均と相乗平均の大小関係の利用を含めた適切な方法で等式や不等式の証明ができる。 b:不等式の証明で、等号が成り立つ場合について考察できる。 c:数学の論証に興味・関心を持ち、様々な問題に意欲的に取り組む。	プリント・小テスト	プリント・小テスト	授業態度
	複素数と方程式	第1節　複素数と2次方程式の解 複素数 2 次方程式の解と判別式 解と係数の関係	a:複素数の四則計算、分母の実数化ができる。 2 次方程式の解の公式を利用して，2 次方程式を解くことができる。判別式を利用して､2 次方程式の解を判別することができる。解と係数の関係を使ったいろいろな問題を解くことができる。 b:平方根を負の数にまで拡張することができる。 2 次方程式の解について、実際に解を求めずに、判別式で解の種類を判別することができることを理解している。 c:様々な問題に意欲的に取り組む。	プリント・小テスト	プリント・小テスト	授業態度
		第2節　高次方程式 剰余の定理と因数定理 高次方程式の解法	a:剰余の定理を利用して、多項式を 1 次式で割ったときの余りを求めることができる。 因数分解や因数定理を利用して、高次方程式を解くことができる。 b:高次方程式を 1 次方程式や 2 次方程式に帰着させることができる。 c:様々な問題に意欲的に取り組む。	プリント・小テスト	プリント・小テスト	授業態度

	図形と方程式	第1節　点と直線 直線上の点 平面上の点 直線の方程式 2 直線の平行と垂直	a:2 点間の距離、線分の内分点・外分点の座標を求めることができる。 直線の方程式の求め方、2 直線の関係、点と直線の距離公式を理解し、利用できる。 b:直線が x, y の 1 次方程式で表されることを理解している。 c:公式を利用して直線の方程式を求めようとする。	プリント・小テスト	プリント・小テスト	授業態度
		第2節　円 円の方程式 円と直線 第3節　軌跡と領域 軌跡 不等式の表す領域 連立不等式と領域	a:与えられた条件を満たす円の方程式の求め方を理解している。円と直線の位置関係を、適切な方法で判定できる。円の接線の公式を理解していて、それを利用できる。軌跡の定義を理解し、与えられた条件を満たす点の軌跡を求めることができる。不等式・連立不等式の表す領域を図示することができる。 b:平面上の点の軌跡を、座標平面を利用して考察することができる。点が満たす条件から得られた方程式を、図形として考察することができる。 c:与えられた方程式が表す図形に興味・関心をもつ。円と直線の位置関係を、2 次方程式の判別式や円の中心から直線までの距離と円の半径の大小関係により調べようとする。	プリント・小テスト	プリント・小テスト	授業態度
後半	三角関数	第1節　三角関数 一般角 弧度法 三角関数 三角関数のグラフ 三角関数を含む方程式、不等式	a:弧度法の定義を理解し、度数法と弧度法の換算ができる。扇形の弧の長さと面積の公式を理解している。いろいろな三角関数のグラフのかき方と周期の求め方を理解している。三角関数を含む方程式・不等式の解き方を理解している。 b:弧の長さで角を測る方法である弧度法を考察することができる。単位円周上の点の動きから、三角関数のグラフを考察することができる。三角関数を含む方程式・不等式を解く際に、単位円やグラフを図示して考察することができる。 c:新しい角の測り方である弧度法に興味をもち、角度の換算に取り組もうとする。$y = \sin\theta$ と $y = \cos\theta$ のグラフが同じ形の曲線であることに興味・関心をもつ。三角関数を含む方程式・不等式の解くことに取り組む意欲がある。	プリント・小テスト	プリント・小テスト	プリント・授業態度

		第2節　加法定理 加法定理 加法定理の応用 三角関数の合成	a:加法定理を利用して、種々の三角関数の値を求めることができる。弧度法を理解する。三角関数の合成ができる。 b:2倍角の公式を利用して、やや複雑な三角関数を含む方程式・不等式の角を統一して考察することができる。 c:加法定理から、2倍角の公式、半角の公式を導こうとする。様々な問題に意欲的に取り組む。	プリント・小テスト	プリント・小テスト	プリント・授業態度
	指数関数と対数関数	指数法則 対数関数とそのグラフ 対　数 対数の性質 対数関数とそのグラフ 常用対数	a:指数と対数を理解する。指数関数・対数関数のグラフの概形、特徴を理解している。底と 1 の大小に注意して、指数関数・対数関数を含む不等式を解くことができる。 b:いろいろな計算ができる。 c:様々な問題に意欲的に取り組む。	プリント・小テスト	プリント・小テスト	授業態度
	微分法と積分法	第1節　微分法 平均変化率と微分係数 導関数 いろいろな関数の微分 接線 関数の増減 関数の極大・極小 関数の最大・最小 方程式・不等式への応用	a:いろいろな関数の微分ができる。増減表を用いて関数の増減を調べる。 b:微分係数・導関数の意味が理解できる。方程式の実数解の個数を、関数のグラフとx軸の共有点の個数に読み替えて考察できる。 c:解答方法を確認する。方程式や不等式を関数的視点で捉え、微分法を利用して解決しようとする。	プリント・小テスト	プリント・小テスト	授業態度
		第2節　積分法 不定積分 不定積分の計算 定積分 定積分の性質 面　積	a:不定積分・定積分の計算ができる。直線や曲線で囲まれた部分の面積を、定積分で表して求めることができる。 b:面積を求める際には、グラフの上下関係、積分範囲などの図をかいて考察することができる。 c:様々な問題に意欲的に取り組む。	プリント・小テスト	プリント・小テスト	プリント・授業態度

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度